

東北海区沿岸水温予報(2010年)

海域	経過 (11~1月)	現況(1月下旬~ 2月上旬)	見通し (2~4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水研発表)	定線観測結果(太平洋) 12月分太平洋定線観測結果 津軽暖流域の各層水温は、0mで高め、50m、100m層でやや高め、津軽暖流の東方への張り出し位置は東経143度19分付近まででやや弱めであった。 太平洋沿岸域の定地水温(平年差) 11月: やや低め~平年並 12月: やや低め~平年並 1月上~中旬: 平年並	太平洋沿岸域の定地水温(平年差) 1月下旬: 平年並 2月上旬: 平年並 2月分日本海定線観測結果 対馬暖流域の各層水温は、0m、50m、100m層で平年並、対馬暖流の勢力は平年並であった。	津軽暖流域の水温は平年並で推移する。 津軽暖流の東方への張り出しは平年並で推移する。	12月分太平洋定線観測結果及び2月分日本海定線観測結果で、各層水温は平年並で推移しており、2月上旬の定地水温も平年並で推移している。 対馬暖流の勢力は平年並みとなっている。 100m水温データを用いた自己回帰予測では、3月は沿岸域で平年並に推移すると予測された。	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	11月 表面: 県北部40~50海里、県中北部10海里、50海里でやや低いほかは、平年並となっている。 100m深: 県北部40海里以内、県中北部10~20、40海里、県南部10海里ではやや低め~低い、県中南部10~30海里、県南部30~50海里でやや高い~高いほかは平年並み。 12月 表面: 距岸10海里内は平年並み~やや低め。県中北部、県中南部40~50海里、県南部50海里でやや高いほかは、平年並み~やや低い。 100m深: 距岸10海里内は平年並み~やや低め。県中北部、県中南部40~50海里、県南部50海里でやや高い~高いほかは、平年並み~やや低い。 県中北部、県中南部沖合40~50海里、県南部50海里で黒潮系暖水を観測。 1月 表面: 距岸10海里内は平年並み。県北部30~50海里、県中北部及び県中南部20~30海里、県南部20海里にかけてやや低い~低い、県中北部から県南部40~50海里にかけてやや高いほかは、平年並み。 100m深: 距岸10海里内は平年並み。県北部20~50海里、県中北部20~40海里、県中南部20~30海里、県南部10~20海里にかけてやや低め~低い、県中北部50海里、県中南部及び県南部40~50海里にかけてやや高いほかは、平年並み。		県北、県中南部の距岸10海里以内で平年並みの他は、やや低め~極めて低めで推移。	FRA/JCOPE 3月上旬海況予測モデルによる。	
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	11月 『142°E以東38°~38°30'Nにかけて平年より極めて低い水域が見られた』 『表面水温』沿岸海域(142°30'E以西)で15~17台となり、ほぼ平年並、沖合海域(142°30'E以東)で16~18台となり、ほぼ平年並。 『100m深水温』38°50'N以北の海域では5~14台で平年より概ね1~3高め。38°50'N以南の海域では、5~14台で平年より約-1~-5低く、特に142°E以東38°~38°30'Nにかけては平年より極めて低め。 12月 『巨理沖142°E以東(100m深)で冷水の影響が見られた』 『表面水温』沿岸海域で14~16台となり、平年より約2高め、沖合海域で15~18台となり、平年より概ね1~4高め。 『100m深水温』38°30'N以北の海域では、12~15台で平年並、38°30'N以南の海域では、8~15台で平年並~約-5低く、特に142°~142°50'E、38°~38°15'Nにかけては平年より極めて低め。 1月 『仙台湾および141°50'E以西の海域では概ね平年並み(表面水温)』 『表面水温』仙台湾内で8~10台となり、概ね平年並、141°50'E以西で10台となり、概ね平年並み。 『100m深水温』141°50'E以西の海域で10台となり、平年並み。	『142°10'E付近(100m深)で巨理沖まで親潮系水が波及している』 『表面水温』沿岸海域で3~9台となり、平年並み~-5低め、ごく沿岸海域及び仙台湾では、8~9台で概ね平年並み。 『100m深水温』概ね平年よりも低めとなり、特に142°10'E付近の海域では、3~5台で平年より-3低く、親潮系水が波及している。	142°E以西の海域では、「平年並み」で推移する。 142°E以東の海域では、概ね「平年並み~低い」で推移する。	「沿岸定線データを用いた宮城県沿岸海域の海況予測モデル」によって海況予測を実施した。(2010年2月について、類似年は1982年であった。)	特になし。

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試 発表)</p>	<p>11月:親潮系冷水が県北海域40~50海里から県南海域30~50海里にかけて南下し、沖合ほど勢力を強めた。また、黒潮系暖水の波及は極めて弱く、本県沿岸域への影響はほとんどみられなかったため、沿岸水温は前月より降温した。</p> <p>12月:黒潮系暖水が常磐南部海域沖合から本県中南部海域の40海里付近に波及した。また、親潮系冷水は前月よりやや勢力を弱めたが、本県中部海域の40海里付近には親潮由来の低水温・低塩分の水塊が分布した。ごく沿岸域は双方による影響の弱い海況となった。</p> <p>1月:親潮系冷水は前月よりやや勢力を強め、県北海域50~70海里から県中海域60海里付近にかけて南下した。黒潮系暖水は県北海域から県南海域にかけて沖合から波及しているが勢力は弱く、沿岸域への影響はほとんどみられなかった。</p>	<p>2月:親潮系冷水は本県海域60海里より沖合域を中心に波及し、沿岸域にもその影響がみられる。黒潮系暖水は沖合から波及しているが、依然勢力は弱く沿岸域への影響はほとんどみられない。</p>	<p>親潮由来の低温傾向は、親潮系冷水の南下に伴い強まる。黒潮系暖水の波及は極めて弱く、期間全体では平年より低め基調の海況と予測される。</p>	<p>・2009年12月以降、沖合域を中心に親潮系冷水の弱い波及が継続する一方で、黒潮系暖水の本県沿岸域への波及が極めて弱い状態が続いている。</p> <p>・自己回帰モデルを用いた予測では親潮系冷水の南下傾向は継続し、低め基調の海況が続くと予測された。</p> <p>・2010年2月の海況は、過去では1993年(平成5年)、2000年(平成12年)と類似しており、これらの年では2月以降、一時的な親潮系冷水の後退や黒潮系暖水の波及はみられるものの、親潮系冷水の南下により「平年並み~平年よりやや低め」で推移した。</p> <p>・気象庁の1ヵ月予報では、3月上旬までの期間で親潮系冷水は本県海域142°30'Eに達すると予測されている。</p>	<p>特になし。</p>
<p>常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>11月:上旬に北部の東経141度20分付近に1.4ノット程度の南下流が観測された。南下流が持続して北方海域から冷水が流入し続けた。このため、全海域水深帯で「低め」となった。黒潮は房総半島に接岸した。</p> <p>表面水温:15~20 「極めて低い」~「平年並み」 100m深水温:9~15 「極めて低い」~「平年並み」</p> <p>12月:上旬に北部の東経141度20分付近に1.ノット程度の南下流が観測された。南下流が持続して北方海域から冷水が流入し続けた。このため、沿岸域は「低め」で推移した。黒潮が犬吠崎に接岸傾向で推移した。</p> <p>表面水温:14~22 「低い」~「やや高い」 100m深水温:9~22 「極めて低い」~「高い」</p> <p>1月:上旬に北部の東経141度30分付近に2.2ノット程度の南下流が観測された。南下流が持続して北方海域から冷水が流入し続けた。このため、沿岸域は「低め」で推移した。黒潮が犬吠崎に接岸傾向で推移したが、末には房総沖から離岸傾向に移行した。</p> <p>表面水温:10~19 「低い」~「やや高い」 100m深水温:8~18 「極めて低い」~「やや高い」</p>	<p>上旬に北部の東経141度30分付近に2.0ノット程度の南下流が観測された。ごく沿岸や北部沖合域には北方から冷水が差込んでいる。一方で、1月末から2月上旬にかけて黒潮が急激に離岸すると同時に、沿岸方向へ黒潮系暖水が波及し、沿岸域の広い範囲に暖水が分布している。</p> <p>表面水温:8~18 「低い」~「極めて高い」 100m深水温:8~16 「低い」~「極めて高い」</p>	<p>2月上旬現在、沿岸域に分布する暖水は今後縮小する。一方で、親潮系冷水が流入しやすい海況になり、概ね「低め~平年並み」で推移する。ただし、黒潮の流路変動時には暖水が波及することがある</p>	<p>2月上旬現在、房総沖に黒潮流路変動による暖水波及があり、ごく沿岸域や北部沖合域を除いて広く暖水に覆われている。同様に平成20年1月に黒潮の流路変動により暖水が波及し、4月頃まで持続した時の状況に比べて、波及規模が小さいことから、今回は早期に消滅すると考えられる。</p> <p>2月上旬現在、茨城県以北には冷水が広く分布している。また、今後、親潮第1分枝の勢力が強まることも予測されている(気象庁予報)。</p>	<p>特になし</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	4.0~+5.9	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	+2.5~+3.9
やや高い(20%)	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	1.5~+3.9	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	+1.0~+2.4
平年並(40%)	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	1.4~-1.4	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	+0.9~-0.9
やや低い(20%)	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	1.5~-3.9	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	-1.0~-2.4
低い(7.5%)	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	4.0~-5.9	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	-2.5~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~